

治療スケジュール

F-2

*レジメン名	BV(5mg/kg)+FOLFIRI療法(14日間)(大腸)
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/m ² d1、 イリノテカン150mg/m ² d1、 5Fu400mg/m ² d1、 5Fu2400mg/m ² d1、 アバスチン5mg/kg d1

*手技	癌	*薬品名・*用法・*コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d()	d()
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生食注シリンジ	10	mL		○			
		1日1回							
		開始時 CVポートフラッシュ							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	15分	○			
		デキサート注射液	4.95	mg		○			
		グラニセロン静注液 1mg	1	A		○			
		1日1回							
		メイン①							
		点滴開始時にアプレピタントカプセル服用							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	90分	○			
	☆	アバスチン注	5	mg/kg		○			
		1日1回							
		インフュージョンリアクション認めなければ次回より60分に短縮可 それ以降、30分投与とすることができる							
		メイン②							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	15分	○			
		1日1回							
		メイン③ 流し							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	2時間	○			
		レボホリナート点滴注	200	mg/m ²		○			
		1日1回							
		メイン④							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	90分	○			
	☆	イリノテカン注	150	mg/m ²		○			
		1日1回							
		側管④							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	5分	○			
	☆	フルオロウラシル注	400	mg/m ²		○			
		1日1回							
		側管⑤							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	46時間 2.5mL/h	○			
	☆	フルオロウラシル注	2400	mg/m ²		○			
		1日1回							
		全量100mLに。(Infusor SV2.5)							
		メイン⑥							
		無菌製剤処理料1							
		携帯型ディスプレイ注ポンプ(化学療法用)							
		休薬完了							●
		以下別オーダー							
内服		アプレピタントCap	125	mg	d1				
		1日1回 1本目の点滴開始時							
内服		アプレピタントCap	80	mg	d2, 3				
		1日1回 朝食後							